



すこやかな自立生活を支える暮らしを 支援する～保健・医療体制の充実～

1 保健・医療体制の充実

現状と課題

疾病が原因で障がい者になることもあり、健康診査などの充実により、生活習慣の改善が必要となります。

また、難病等の範囲が拡大され、難病患者やその家族への支援が求められています。

発達障がいは、障がいの程度や現れ方がさまざまであり、幼児期・学齢期・成人期などライフステージに応じて課題も変化することから、一貫性と継続性を持った支援を行うことが重要です。

アンケート調査によると、将来を考えたときの不安について、身体障がい者では「健康でいられるか」の割合が高く、精神障がい者では、「生活費が足りるか」の割合が高く、知的障がい者では、「自分で身の回りのことができるか」と「金銭管理や安全面」と答えた割合が高くなっています。

また、ヒアリング調査によると、医療機関受診の際などの困りごととして、「各障がいごとに必要な情報が欲しい」という意見が障がい者団体から挙がっています。

市の保健事業では、生活習慣病の予防につなげるための個別指導、相談支援等事業の周知等に取り組んでいます。

今後、保健・医療分野と福祉分野とのさらなる連携を進め、障がいの状況に応じたきめ細かな支援体制づくりに取り組む必要があります。

施策の方向

障がいの要因となる疾病等を予防するため、医療機関などと連携し、疾病や障がいなどの早期発見及び治療、早期療育に努めます。また、医師会、歯科医師会など関係機関と連携を図り、医療やリハビリテーションの充実に努めるとともに、医療機関の情報提供など、障がいのある人が医療やリハビリテーションを受けやすい環境づくりを進めます。

健康の保持・増進のため、健康診査や生活習慣病の予防、また早期発見のため、健康教室や保健指導を実施するとともに、各ライフステージに応じた心と身体の健康づくり活動を支援します。早期療育体制を充実することにより、障がいによる生活のしづらさの軽減や健康の増進を支援します。

主な事業

- 保健指導や健康教室の充実（健康推進課、子育て支援課、生涯学習課）
- 障がいの発生予防に関する啓発の推進
（健康推進課、子育て支援課、生涯学習課、生活福祉課）
- 健康に関する教育、相談、診査等の普及・啓発の充実
（学校教育課、健康推進課、子育て支援課、生涯学習課）
- 妊産婦健康診査の充実（子育て支援課）
- 乳幼児健康診査の充実（子育て支援課）
- 育児支援事業の充実（子育て支援課、生活福祉課）
- 子育てセミナー等の各種教室、育児講座や健康相談等の実施
（子育て支援課、生活福祉課）
- 訪問指導の実施
（健康推進課、高齢者支援課、子育て支援課、生活福祉課）
- 妊産婦・新生児訪問の実施（子育て支援課、生活福祉課）
- 養育医療費の助成（子育て支援課）
- 自立支援医療費の助成（生活福祉課）
- 障がい者医療費の助成（国保年金課）

2 難病患者施策の推進

現状と課題

難病は原因や治療方法の不明なものが多く、難病患者の介護等は、家族の精神的、経済的、身体的な負担があるといえます。

また、難病患者に対する誤解や偏見は根強く存在しており、社会との交流が難しい状態にあります。

今後、保健・医療・福祉の密接な連携のもと地域への啓発や生活支援事業の推進が求められます。

施策の方向

難病患者及び家族がもつさまざまなニーズに対応し、きめ細やかな相談や適切な医療やサービスにつながるよう、関係機関と連携し、体制を強化します。

主な事業

- 患者及び家族に対する相談指導の充実
(学校教育課、健康推進課、子育て支援課、生活福祉課)
- 保健・医療機関等との連携
(学校教育課、健康推進課、子育て支援課、生活福祉課)